



## 1 明北小 5・6年合同体育『ハードル走』 4月22日(水)



「ハードル走の单元、5・6年一緒にやらない!？」こんな担任同士の会話から、異学年合同での学習が実現していきます。体育ならば、運動の特性・学び合い・準備や片付け等を考慮し、異学年で学ぶよさがより膨らむであろう单元を選んで行っています。授業を進めるのは、体育専門の5年担任が行い、6年担任は、子どもたち一人一人に目を向けた声かけをしながらフォローをしていきます。子どもたちは、お互いに動きを見合いながら、全体追究の場では、学年を超えたそれぞれの気づきに耳を傾け、自分の動きに活かしていました。

## 2 明北小 交流委員会企画『1年生を迎える会』 4月28日(火)



新1年生 17名を迎える会が行われました。明北小(全校児童 89名)は、人数的にも、全校児童が同じ場で一緒に遊ぶことができるよさがあります。また、子どもたちも、学年を超えた多くの仲間と楽しむことを望んでいます。迎える会では「ジャンケン列車」と「だるまさんの一日」を楽しみました。全校縦割り班で行う企画も含め、委員会や6年生が中心になり、自分たちが楽しみたいことを、自分たちの手で実現していく子どもたちです。

### 3 明科中 生徒会役員・職員『ランチミーティング』 4月30日(木)



明科中では、生徒会と職員とのミーティングを適宜行っています。新年度初回となるミーティングには、生徒会長・生徒会副会長（2名）・校長・教頭・教務主任・養護教諭が参加し、ランチルームで一緒に給食を食べながら、和やかな雰囲気の中で行われました。

最初に、校長から『明科中が、こんな学校になるといいなという思いを語ってほしい。』という問いかけがあり、生徒会長から順に自分の思いを語りました。「(会長) 全員で、成長していきたい。一人一人が自分から声をあげていきたい。」「(副会長) 一人一人の個性を表に出して、それを否定せず認め合っていきたい。」「(副会長) 学校を楽しい場所にしたい。一人一人がやりたいことや、委員会企画を、みんなで協力してやりたい。」など、慌てずじっくりと、今の思いを自分の言葉で語っていました。職員は、生徒の思いをしっかりと受け止めながら、更に聞いたり、自分の思いも語ったりしました。生徒3名は、“楽しい学校”について「友だちがいるから学校は楽しい。聞いているだけじゃなく、いつもの雑談する感じで、友だちと話せる授業が楽しい。」「明科中のよさ”は「学年の壁がなく、誰とでも喋れるし明るいこと。」とも語っていました。

この会は、語り合いたい内容に応じて、生徒も職員もメンバーが替わります。生徒と共に学校づくりを進める明科中です。

### 4 明科中学校区『第1回クローバー研修会』 4月27日(月)



安曇野市では、小中各校の校長・教頭・教務主任・研究主任が参加する、クローバー研修会が年に3回行われています。第1回は、全体会の後、明科中学校区での話し合いが持たれました。

各校が現状を話す中で、TOCO-TON に関しては、「子どもの考えから発する大切さ」「子どもたち自らの取組における素敵な失敗と担任の動き」「探究についての捉え」等について意見が交わされました。次回は、夏休み中に行われます。